

科目名	美術			担当教員	永井 崇幸		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	07G01_20140		
学習目標	写実描写、構想画、デザイン画などの絵画表現や鑑賞を通して、創造力を伸ばし、豊かな感性と心情を養う。言葉では表現できないことを感じる美意識を深める。						
進め方	相対するイメージを比較することでその本質を見定め、イメージを膨らませて自己の表現を追求させる。						
履修条件	特になし						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1．鉛筆デッサン ペンを持った手（2）			鉛筆で明暗をつけ、手の立体感と質感を表現する。2つの異なる物質を表現する際には、質感や大きさなどが相互に関わりあうことを知る。 E6:1			
2．記憶の絵地図（4） 着彩			自分がすごした幼児期・年少期を思い出し、他の人が見てわかりやすい表現をする。 B2:1				
3．構成と表現			自宅周辺をあらゆる絵画表現方法を使って、分かりやすく楽しい絵地図として表現する。 B2:1				
(1)「楽しい」と「悲しい」の表現 (2) 着彩			枠の中に着色できる。混色が出る。比較することで観念的でないイメージを膨らませる。 E6:1				
(2)「寒い」と「暖かい」の表現 (4) 着彩			身近にある工業製品の精密描写を試みることで機能美、材質の特性、ロゴマーク、配色などを学習し、立体的な表現ができる。 B2:1				
(3)「明るい」と「暗い」の表現 (6) 着彩							
4．精密描写（12） 鉛筆デッサン、着彩			デッサンをして淡彩画の着色をする。 E6:1				
評価方法	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価（90%）（作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%）、制作態度(10%)を考慮して総合的に評価する。						
関係科目	自らのイメージを豊かに膨らますことで、型に入らない新鮮な発想とそれを表現する手段を養うことは、未来を担う技術者の育成に重要である。						
関連科目	特になし。						
教材							
備考	自主的に美術館・ギャラリーなど鑑賞した際のレポートは、随時受け付けます。 スケッチブックと絵の具（アクリルガッシュ）を購入。（2年間使用）						